



第36回上田八木・金融政策サーベイ(2020年7月)

発表日：2020年7月13日 14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2020年7月8日～10日
調査先	169先
回答率	91.1%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(7月14日～7月15日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回6月12日)	変化幅
緩和	2 (構成比%)	4	▲2
不変	98	96	+2
引締	0	0	±0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲2	▲4	+2

(Q2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月12日)	変化幅
低下	8	3	+5
不変	87	91	▲4
上昇	5	6	▲1
短期金利予想DI	▲3	3	▲6

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月12日)	変化幅
低下	1	2	▲1
不変	96	93	+3
上昇	3	5	▲2
2年国債金利予想DI	2	3	▲1

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月12日)	変化幅
低下	3	3	±0
不変	88	89	▲1
上昇	9	8	+1
10年国債金利予想DI	6	5	+1



第36回上田八木・金融政策サーベイ(2020年7月)の結果について

～全回答者(154先)の98%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。3か月先の無担保コールON金利予想では、「低下」の見方が増加した。

2020年7月13日
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 全回答者(154先)の98%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。緩和を予想する先はごくわずか(2%)であった。
- 3か月先の無担保コールON金利予想では、「上昇」の見方が減少(6%→5%)し、「低下」の見方が増加(3%→8%)した。
- 2年国債金利・10年国債金利の予想については、前回とほぼ同じ結果となった。

【調査の概要】

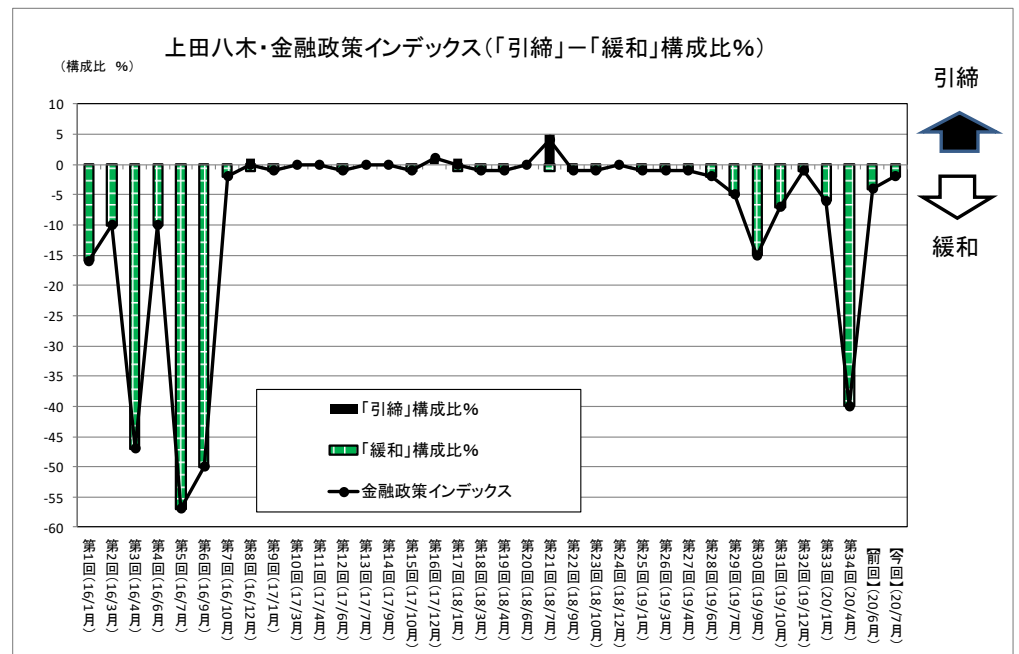
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(169先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2020年7月8日～10日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	91.1% (回答者数154先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(7月14日～7月15日)における決定について

回答者の98%が「不変」の見方。「緩和」の見方は2%。「引締」は0%。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「▲2」(前回▲4)であった。



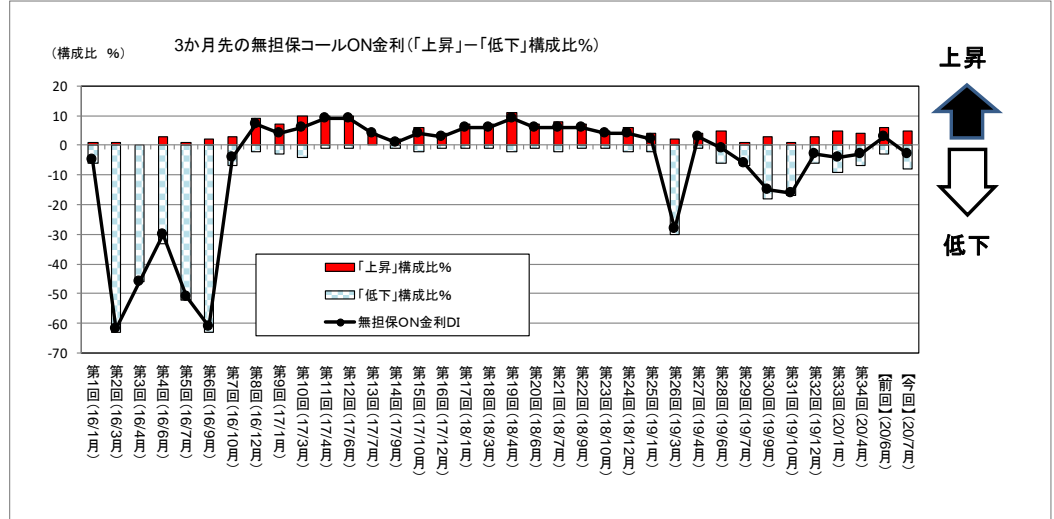
(Q2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の5%が「上昇」と予想、8%が「低下」を予想、「不変」とみている先は87%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲1%ポイント(前回6% → 今回5%)。

「低下」とみる先は+5%ポイント(前回3% → 今回8%)。

「不変」とみる先は▲4%ポイント(前回91% → 今回87%)。



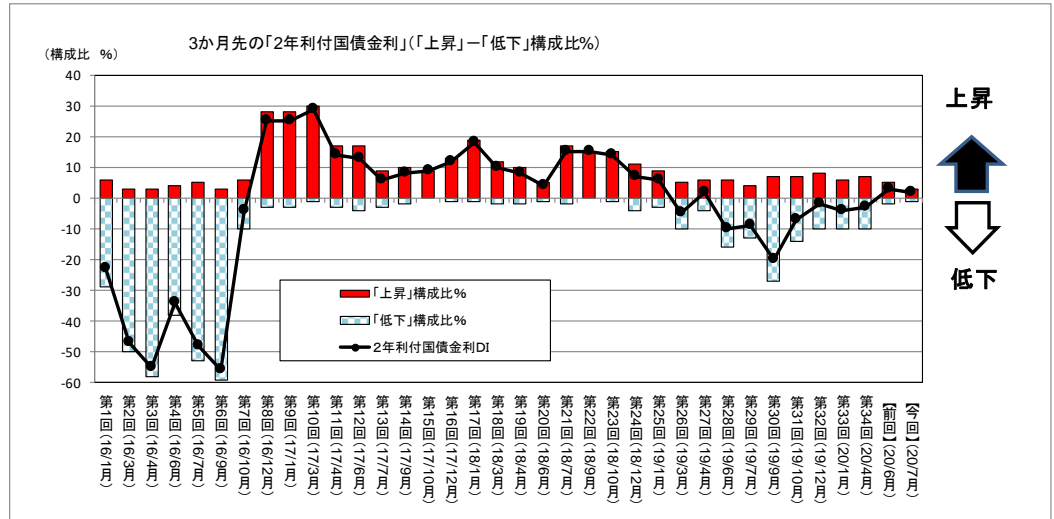
(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の3%が「上昇」を予想、1%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は96%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲2%ポイント(前回5% → 今回3%)。

「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回2% → 今回1%)。

「不変」とみる先は+3%ポイント(前回93% → 今回96%)。



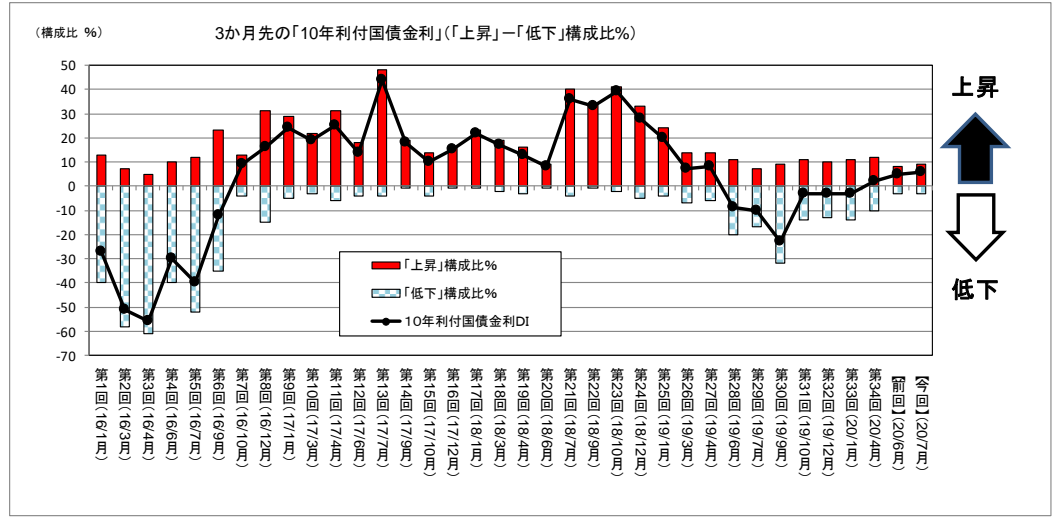
(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の9%が「上昇」を予想、3%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は88%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回8% → 今回9%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回3% → 今回3%)。

「不変」とみる先は▲1%ポイント(前回89% → 今回88%)。



【本調査に関する照会先】 企画部 島本、嶋瀬 (電話 03-3272-0293)